

# MSW通信 2025.3月号

発行日 2025年(令和7年)3月31日

発行者 高知県医療ソーシャルワーカー協会

事務局 高知市本町4丁目1番37号丸ノ内ビル内 高知県社会福祉センター3F

FAX: 088-871-5100

事務局 E-mail: kochi\_msw2017@yahoo.co.jp (お問い合わせ・各種届)

MSW 通信部会 E-mail: kochimsw@yahoo.co.jp (MSW 通信への記事投稿)

会報部会 E-mail: kaihou\_kochi@yahoo.co.jp (会報 医療社会事業への投稿資料提供)

URL: <http://www.kochi-msw.com/>

## ご案内

### ●「令和7年度総会・研修会のご案内

## 佐原まち子氏

(日本医療ソーシャルワーカー協会者元会長)

### 記念講演決定

<日時> 令和7年5月24日(土) 13:00受付 13:30開会

<会場> 近森病院 管理棟

※駐車場は近森病院駐車場以外のパーキングをご利用ください。

<内容>

○総会記念講演(会場にてリアルタイムリモート講演、配信無し)

講師: 佐原まち子氏

(一社) with 医療福祉実践研究所代表、元(公社)日本医療ソーシャルワーカー協会会長

## テーマ「SWプロセスの中の面接の重要性」

○令和7年度定期総会

詳細のご案内は後日となりますが、参加に向け日程の確保をお願いいたします。協会の事業継続に向け大切な場となります！

### ●会報部会よりお願い 皆さんの活動成果の募集！

令和6年度中に会員の皆様が実践された研究発表や実践報告等々を、会報「医療社会事業」No.64へ報告掲載してみませんか？あなたの貴重な実践が協会の仲間へ伝わり、ソーシャルアクションへつながることと思います。これまでの掲載実績はバックナンバーを確認ください。

会報の発行先は全会員、全国MSW協会会長会会員(47都道府県協会と日本MSW

協会、オーテピア図書館、広告協賛団体等々、300 個人団体を超えます)  
掲載内容は？発表等に使用された「パワポデータ・抄録・レジュメ等」となります。  
掲載に興味のある方、ご協力いただける方は、以下までメールください！  
また発表を見聞きした方の情報提供もお願いします！

「会報部会：[kaihou\\_kochi@yahoo.co.jp](mailto:kaihou_kochi@yahoo.co.jp)」

## 報 告

### 『理事会』

【日 時】令和 7 年 3 月 13 日(木) 19:00~

【開催方法】オンライン(ZOOM ミーティング使用)

【参加者】理事：中本・佐々木・高原・森田・秋田・荻野・稲田・島村・島田・宮地・山光・大倉  
出席理事：10 名 理事会成立  
事務局：福島・清水

### 【議 題】

#### 1, 部会活動報告(事業計画・報告検討)

##### ① 社会資源調査研究部会(森田理事)

令和 7 年 2 月 27 日(木) 17:45~18:40 リモート開催

- ・介護タクシー情報について最終見直し。確認後、事務局へ送付、HP 掲載予定。  
掲載予定のデータは、R7 年 2 月末情報として、高知県で 61 事業所の集約データをまとめたもの。
- ・3 月以降、施設見学について検討。候補地・高齢者住宅さわやかガーデン(朝倉)  
内容決定次第(4 月~5 月以降)施設見学について相談予定。希望 日、土日祝での開催を検討中。  
次回開催：令和 7 年 3 月 27 日(木) 17:45~

##### ② 生涯研修部会(秋田理事)

令和 7 年 2 月 19 日(水) 19:00~20:20 リモート開催

- ・2 月 9 日開催：専門研修振り返り、参加人数が少なかった。研修内容が分かりづらい。広報開始時期が遅れた。専門研修は 4 年以上の経験年数がある方を対象としていたが、研修の内容を振り返ってみると、年数を問わず参加を募ってもよかったのではないかという意見もあった。
- ・3 月 8 日新人研修「フォローアップ研修」を実施。受講生は 9 名。3 月部会にて振り返りの予定。  
次回開催：令和 7 年 3 月 19 日(水) 19:00~

##### ③ 月例会部会(荻野理事)

令和 7 年 3 月 4 日(火) リモート開催

- ・2 月の例会の振り返り及び反省会：課題等はなく、アンケート回答は学生への激励内容が多くあった。会場誘導は、学生から協力あり問題なし。月例会として定期的に学生向けの研修を今後も続けていくことを検討していく。
- ・令和 6 年度に開催した例会(5 月・11 月・1 月)の振り返りを実施。
- ・令和 6 年度の会計報告 ・新年度の役割について ・令和 7 年度月例計画：年 3 回を予定。
- ・部会の統一について ・令和 7 年度の研修内容について  
次回開催：令和 7 年 4 月 8 日(水) 18:30~

##### ④ 会報部会(稲田理事)

- ・広告の依頼についての準備を進行中。  
次回開催：令和 7 年 4 月 予定

⑤ 財務部(佐々木理事)

- ・3月財務部会を開催予定：今年度の収支と次年度の予算について検討。

⑥ 広報部会（事務局・通信・HP・SNS）

- ・HP更新 2/13×2回・3/4×3回 計5件
- ・ライン更新計2回 研修・トピック情報 ホームページとのリンク内容
- ・通信発行 2月号 2月28日発行 3月4日HP掲載

⑦ 大会部会（島田理事）

- ・令和7年3月5日(水) 19:00~20:45 リモート開催
  - ・令和7年3月12日(水) 19:00~20:45 リモート開催
  - ・3月15日開催大会の最終確認：3月13日中に再度案内予定(メール)。
  - ・参加者：69名(内リモート：40名) 3月12日時点。
  - ・懇親会：17名
- ハイブリットにすることで、現地参加が少なることが課題、来年度は対面のみでの開催を検討。  
次回開催：令和7年4月 予定

## 2. 他団体関係機関からのお知らせ・案内・名義後援等

- ・高知県子ども福祉政策部：令和7年度高知県介護支援専門員法定研修の講師推薦について依頼
- ・高知県子ども福祉政策部：高知県高次脳機能障害支援委員会委員の推薦について
- ・高知県健康政策部：高知県難病対策地域協議会委員の推薦について
- ・日本医療ソーシャルワーカー協会：協会ニュース
- ・日本女子大学(赤澤氏)日本福祉大学(保正氏)：都道府県による研究支援の実態に関するアンケート調査について(ご依頼)
- ・公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会 社会貢献事業部 身元保証人問題チーム：身寄りのない患者を取り巻く社会的課題についての研究
- ・一般社団法人義倉助成金事業：依存症予防教育研修「子どもを性被害から守るために知っておきたいこと」2025年3月28日(金)まなびの館ローズコム福山大会議室(福山市)
- ・ジェイ・ワークス株式会社：グループJ's女性限定のグループホーム案内
- ・公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会：社会貢献事業部 身元保証人問題チーム身寄りのない患者を取り巻く社会的課題についての研究
- ・公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会：「身寄りのない患者を取り巻く社会的課題についての研究」に関わる調査協力をお願い
- ・高知県社会福祉協議会：第22回高知ふくし機器展バリアフリーフェスティバル2024 お礼
- ・(一社)茨城県ソーシャルワーカー協会：協会だより102号の送付について
- ・高知県ひきこもり地域支援センター：「経験者が語るひきこもり～解決ではなく共にあること～」講演会案内交流会：『青年期の集い 女子ミーティング special 版!!「ひきこもり女子会 in 高知」』令和7年3月8日(土)かるぽーと
- ・高知市健康福祉部地域共生社会推進課：高知くらしつがるネット掲載内容の確認について
- ・(一社)静岡県医療ソーシャルワーカー協会：会報「ソーシャルワーカー援助e」送付について
- ・(一社)静岡県医療ソーシャルワーカー協会：令和6年度県民公開講座のチラシ送付について
- ・オーテピア高知図書館：広報紙『コトノハ』(vol.18)の送付について

## 3. 協会代表者派遣

- ・高知県災害リハビリテーション連絡協議会 R7年2月27日(木)18:00-18:40 中本会長
- ・令和6年度高知県高次脳機能障害支援委員会 R7年3月10日(月)19:00-21:00 中本会長
- ・四国ブロック医療ソーシャルワーク大会 愛媛大会 R7年3月2日(日)10:00-16:00 中本会長  
会場：道後温泉 にぎたつ会館 →高知県から『近森病院：三浦氏』『細木病院：大崎氏』が発表。

## 『会員動向』

氏名	種別	内容
市川 由佳梨氏	退会	近森病院
次回理事会：R7年3月13日（木）19：00～ リモート開催		

## 『研修関連』

### 令和6年度 新人フォローアップ研修 -研修部会-

日時：令和7年3月8日（土）14：00～16：40

会場：ふくし交流プラザ 参加者：9名

講師：南国病院 山本 真里氏

内容：14:10～16：30 講義・グループワーク  
16:30～ レポート作成

研修報告 高知大学医学部附属病院 川上 夏歩

今年度の新人フォローアップ研修では、自己覚知についての講義およびグループワークとしてクロスロードゲームを行った。

クロスロードゲームとは、事例に対して「Yes」か「No」か自分の考えを出し、それをグループの中で共有・意見交換するという内容である。ただ2択を選ぶだけではなく、根拠に基づいた選択を他者に伝えるために言語化するという難しさがあった。実際に現場のソーシャルワーカーの方が感じたジレンマをテーマに事例が設定されており、非常に悩ましい選択を迫られることもあった。

「自分だったらどうするか」を考え、グループの中で共有することを通して、自分の価値観や相手の価値観を知る機会となった。クロスロードゲームを通して、ソーシャルワーカーとして感じるジレンマには答えがないということを学べる貴重な研修であった。

研修報告 高知赤十字病院 山本菜桜

医療ソーシャルワーカーとして勤務し始めて1年になりますが、私は転退院や自宅退院の調整時、患者さんやそのご家族へ支援をするにあたって、支援の中の正解を求めてしまうところがあると思いました。しかし今回の研修を通じて、支援の中の正解はないということ、何よりも医療ソーシャルワーカーとしての自分の考えをしっかりと持ち、それを多職種と共有し、患者さんやご家族と共に考え新たな発見や理解に繋げながら、選択肢を広げていくようにすることが大切なのだ学びました。今回の講義で学び得た「選ぶ過程を患者さんやご家族自身に渡す役割」を担えるように、医療ソーシャルワーカーとしての知識や経験を積みさせていただきながら、その人らしい自己決定ができる支援をしていきたいです。





開催日時：令和7年3月6日(木) 18:30~(講義と質疑90分)

開催方法：ZOOM ミーティングによるリモート会議

講師：森高知県立大学看護学部看護学科 准教授 森下 幸子氏

研修開始が18:30、終業後の時間帯にも関わらず、当協会会員はじめ居宅ケアマネさんや包括支援Cスタッフなど、約30名の参加がありました。学びの時間としては終業後の時間帯も一定のニーズがあると考えました。今後も終業後の時間を有効活用したコンパクト+参加しやすいリモート+ニーズ適合+多職種機関交流=「有効な研修会」を実施していきたいと思えます。

日常業務における人生会議の実践取り組み及び啓発活動など、少子高齢多死時代の現在、クライアントの意思決定支援に関わる私たちソーシャルワーカーにとりましては重要業務の一つと考えます。講師の森下先生、ご協力ご支援いただきました高知県在宅療養推進課様、貴重な学びをありがとうございました。 担当 中本雅彦

## 人生会議と意思決定支援研修会講師 森下幸子氏

これから向かう人口減少・少子高齢化社会

	2023年(R5)	2025年(R7)	2030年(R12)	2035年(R17)	2040年(R22)
全国人口	1億2400万人 (高齢化率29.1%)	年間50~70万減 団塊世代が 後期高齢者 介護職の必要数243万人	1億2000万↓ 高齢者数が急増 (年間20~40万人)	就職氷河期が 高齢者へ 団塊の世代が 85歳以上	1億1092万人 年間88万人減少 2042年高齢者 人口ピーク
単身世帯		751万世帯	796万世帯		896万世帯 高齢者世帯の3割
認知症		471.6万人			584.2万(15%)
高知県人口	669,289人 36.2%	652,757人 36.8%	614,449人 37.9%	575,728人 38.8%	536,443人 41.2%
高年齢人口 (高齢化率)	22.8%	認知症45,652人 R17年まで増加 (高齢者5人に1人)	75歳以上人口 ピーク	85歳以上人口 ピーク	高齢化率・要介 護認定者数ピーク

根拠資料：高知県在宅療養推進課(2023)、高知県高齢社会対策部(2023)高知県高齢社会対策部(2023)高知県高齢社会対策部(2023)



### 研修報告①

今回の研修では、人生会議と意思決定支援をテーマに森下先生にご講義いただきました。高齢多死社会において大事な考え方として、アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)が注目されており、改めてその言葉の意味合いや、話し合う内容、段階によっての介入方法、高知県での取り組み等について学びを深めました。人生の最終段階の医療やケアについて事前に話し合うプロセスとして人生会議をもち、そこでは大切にしたいことや死生観、医療・ケア、代弁者について等が話し合われるとの事でした。簡単には理解していたものの、実際にACPを始める事に私自身、困難さを感じていました。しかし講義のなかで、「家族や介護・地域の支援者、病院スタッフ等の多様な場にいるACP支援者で本人の意思をつないでいく」という事を学んだことで、人生会議だと支援者だけが背負い込まないで、みんなで始めていくことが重要であると気づくことができ、大きな収穫となりました。また、人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインが示されていたりと、近年ではこうしたテーマがより一層重要視されていますが、人生会議の認知度としては国民の7割、県民でいうと8割が知らないという現状とのことです。高知県では市町村によって、エンディングノートに類似したものを作成したり、在宅や施設での看取りに関する動画を活用したりと、それぞれで取り組みを進めている事を知り、より多くの人に周知・活用してもらえようになっていけたらと感じました。

## 研修報告②

精神科病院に勤めて40年近く。当院の患者層が比較的若いこともあって、以前は入院患者さんの終末を考えたことはありませんでした。が、今は精神科治療というより介護が主となり、骨折・肺炎・身体疾患の為、他科に転入院しては戻ってくる方が多くなりました。転院先を探すにも終末をどう考えているかと問われるようになりました。

私の担当ケースでも、肺炎を繰り返し終末期についてどう考えるか、ここ数年ご家族に心の準備として考えていただくようお話をしていました。でもご家族は県外で、コロナ禍のなか数ヶ月に1回15分の面会、先日急変で悩む間もなく亡くなりました。

これまで、多職種に対して入院中のことだけではなく退院後の生活を視野に入れた支援をと言ってきましたが、今回の研修で振り返ると、私こそ病気の事だけ・退院するまでの対応ではないかと反省します。

精神科病棟は一般科に比べ看護師は少なく、介護度に合わせた配置でもない。看護師も介護に追われ患者と話し込む余裕はなくなっています。私も、いざという時呼吸器を使用するか、延命治療は？と聞くのはハードルが高かった。しかし、研修での話の様に「病気でベッドから動けなくなったらどうして欲しい？何をしたい？気になることは？」という問いかけならできる気がします。その人がどんなことが好きで、どんなことをして欲しくないか。何を大事にしたいと思っているか？ワーカーの本来大事にするべきことに立ち戻る事を思い出させてくれた研修でした。本人の残した言葉が、将来選択を迫られた家族の気持ちの負担をどれだけ軽減させる事ができる事か。ちなみに、私はベッドから動けなくなって意識が朦朧となった時、カモミールのアロマを焚いて欲しいです。講師の方が言われていた「自分の意思を示すことができるうちに」という言葉が印象的でした。

藤戸病院 西村 倫

## 研修報告③

ちょうどこの講義の半月ほど前に「知っちょいてノート」を活用し、90代の患者本人と話し合う機会がありました。MSWになり2年で初めての経験でした。患者の身寄りも県外の兄のみであり、認知症はなくしっかりした患者であったため本人と私2人での話し合いでした。この講義を受けて、在宅で今後関わる地域のケアマネージャーなども入ってもらったら良かったのではと反省しました。私はノートを埋めることを目的としてしまい、プロセスを大事にできていませんでした。

また、ACPは1度限りだけでなく退院後にも自宅において様々な職種を巻き込んで繰り返し行うことが大切だと学ぶことができました。色々な職種が入ることで選択肢が増え、より良い合意形成ができると感じました。

また、ACPにおいて支援者の解釈が入らないように本人の話したことをそのまま記載する必要があることなど学ぶことができました。講義で教わったガイドラインを参考にし、次回に活かせるよう勉強を続けていきたいと考えています。

高知病院 野村佳世

# 第62回 高知県医療ソーシャルワーカー協会大会

今だからこそ身近に感じて学ぼう 「災害時のソーシャルワーク～基礎編～」

【日 時】 2025年3月16日(日) 9:00～13:00 (受付8:30～)

【会 場】 近森病院管理棟3階(高知市大川筋1丁目1-16)

オンライン(ZOOM) ※ハイブリッド開催

【参加費】 MSW協会会員・学生：無料 非会員：500円

## 【大会プログラム】

総合司会 上村理事(大会部会担当)

9:00～9:10 開会あいさつ 中本会長

9:10～10:00 県政出前講座「南海トラフ地震・津波の特徴や必要な備え」

高知県 危機管理部 南海トラフ地震対策課

こうち防災備えちよき隊 隊長 北川 尚 氏

10:00～10:20 高知県 DWAT(災害派遣福祉チーム)の紹介

高知県社会福祉協議会 鳴川 真央 氏

(後日延期オンデマンド:3月27日リモートライブ収録 約40分)

10:20～10:30 休憩

10:30～11:30 講演(災害時におけるソーシャルワーカーの役割)「

医療ソーシャルワーカーによる被災者の生活再建支援」

～阪神・淡路大震災から能登半島地震までの経験値をふまえて～

講師 笹岡 眞弓 氏 日本医療大学総合福祉学部 学部長

11:30～11:40 休憩(オンライン参加の方は終了)

11:40～12:50 グループワーク(現地参加者のみ)

12:50～13:00 閉会あいさつ 島村大会部長(担当理事)

## <総括> 永井病院 杉村純子

災害時のソーシャルワークの3か年計画の1年目として、ハイブリット形式で開催した。会場参加は26名、オンライン参加は39名、計65名の方に参加いただいた。

県政出前講座として、こうち防災備えちよき隊 隊長の北川尚氏より、「南海トラフ地震・津波の特徴や必要な備え」をテーマにご講演いただいた。講演では、基礎的な地震が発生する仕組みから始まり、実際の津波被害の映像を交えた、津波の高さに応じた被害想定までお話をいただいた。私たちMSWが、災害時に支援者として動くためには、まず、自分自身と家族が被害に合わないよう、自宅の耐震を含めた対策を支援できる状況を作ることが大切と教えていただいた。

日本医療大学総合福祉学部 学部長 笹岡眞弓氏より、「医療ソーシャルワーカーによる被災者の生活再建支援」をテーマに、災害時のソーシャルワーカーの活動の歴史から災害時のMSWの役割までご講演いただいた。命が助かった後の生活再建支援により、被災された方の生活が継続していくための重要な役割を担っていることをお伝えいただいた。ご講演後、直接参加者のみでグループワークを行い、感想や今後獲得していきたいこと、学んだことについて意見交換を行った。

高知県社会福祉協議会総合人材センター鳴川真央氏のご講演は諸事情により、急遽中止となったが、後日講演の動画配信を行った。「災害福祉支援活動と災害派遣福祉チーム(DWAT)」をテーマとし、災害福祉支援活動の必要性から、DWATの位置づけや役割等までご講演いただき、DWATの活動が終了した後も、支援が途切れることが無いように、情報の引継ぎが一番重要とのお話をいただいた。

## <参加者の声> 近森病院 田村 歌穂

南海トラフ地震等災害時、ソーシャルワーカーとして何かできることはあるのかを知りたく、今回の研修に参加した。

記念講演でのグループワークが印象に残っている。講座・講演を通して感じたこと、これから活かしていきたい

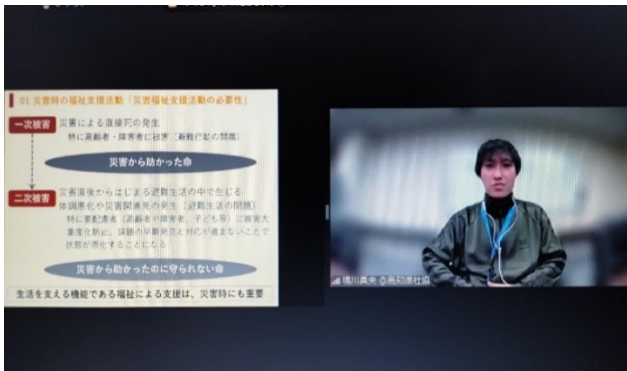


いことを話し合った。

私は被災地へ出向いていくことを想像したとき、及び腰になった。知らない土地・文化の中、想像もできぬ体験をした被災者に外部からやってきた自分を受け入れてもらえるのだろうか、何ができるのだろうかと怖くなった。その思いを他参加者に打ち明けると、実際に DWAT や DPAT として活動した方からフィードバックをもらった。「何もできなかった」「自分も何て言葉をかけて良いのかも分からず怖かった。挨拶から始めて、被災された方に現場のことを教えてもらった」等の言葉ももらった。被災者の力になりたいという熱量だけではなく、現場の状況を知り、教えてもらうという謙虚で誠実な姿勢でいることが大切だと学んだ。

災害時のソーシャルワークは、災害という非日常的な状況で特別なイメージだったが、日ごろの面接技術等活かせることは多いと知った。

また、生活再建支援にはソーシャルワーカーの力量が試されると聞き、日々自己を磨いていくことが災害時ソーシャルワークに繋がっていると思うため、これからも精進していきたい。





## 『お知らせ』

### ★協会事務局へのお問合せ方法についてお知らせ

当協会への各種お問合せ方法につきまして、以下のとおりです。  
ご理解の程、宜しくお願いいたします。

＜郵送・FAX・メール＞



『求人情報』詳細は協会ホームページの求人情報へ

- 高知県立精神保健センター
- 朝倉病院
- 田野病院



### 編集後記

梅の花が咲き、桜のつぼみも膨らみ、春の訪れを感じるようになりました。  
まだ寒い日もありますが、今年もお花見の季節がやってきました。  
桜は大好きなのですが、私の中では「お花見＝寒い」というイメージがあって、  
皆さん春めいた服装でお花見してますが、私は毎年真冬の服装で、「寒い、寒い」と言いながら  
お花見してます。  
地球沸騰化と言われる今日ですが、この風情ある日本の四季をいつまでも楽しめるよう  
環境への配慮を怠ってはならぬと思う今日この頃です。  
年度末で何かと忙しい時期ではありますが、新年度に向け気持ちを新たに頑張りましょう。

MSW 通信への記事投稿お待ちしております！

会員で共有したいことや全国のソーシャルワーカー仲間、関係者、国民にお伝えしたいことが  
あれば先ずはご相談ください。

送付先は通信 yahoo アドレス [kochimsw@yahoo.co.jp](mailto:kochimsw@yahoo.co.jp)

# 高知県医療ソーシャルワーカー協会会員 LINE !

高知県医療ソーシャルワーカー協会 広報用LINEアカウント

「MSW通信web」への登録のお願い

会員の皆様

このたび、協会の情報発信の効率化、迅速化を図るために、LINEアプリにて協会の情報発信を行なうこととなりました。

会員の役に立つ様々な情報を日々配信していきますので、ぜひ以下のQRコードから登録をお願い致します。

設定方法などご不明の点があれば、協会広報部会までお問い合わせください。

問い合わせ先) 広報部会  
高知大学医学部附属病院  
地域医療連携室 前田/高原 088-880-2701



高知 MSW通信web  
友だち検索 フォロワー

高知県MSW協会向け広報になります  
088-871-5100  
<http://www.kochi-msw.com/>  
〒780-0870 高知県高知市本町4丁目1番37号  
丸の内ビル内 高知県社会福祉センター3F

トーク 投稿

高知県医療ソーシャルワーカー協会  
088-871-5100  
<http://www.kochi-msw.com/>

プレビュー

MSW通信web  
【広報部会】  
令和3年度介護報酬改定に向けて行なわれている「社会保障審議会介護給付費分科会」(2021/1/18開催)の資料が公開されました。  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_16033.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_16033.html)

MSW通信web  
【求人情報】  
求人情報ページにて「医療法人○○○会 病院 ○○○診療所」の情報を掲載しました。  
詳細は協会ホームページを確認ください。  
<http://www.kochi-msw.com/recruit/20210210>

MSW通信web  
【研修案内】  
筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群 理解と支援のZOOMセミナー  
日時: 2021/3/24 (水) 18:30~20:30  
※事前申し込み必要 (WEB開催)  
<https://bit.ly/3bpNMwU>

MSW通信web  
ME/CFS 筋痛性脳脊髄炎 慢性疲労症候群  
理解と支援のための ZOOMセミナー  
参加無料  
2021年3月24日(水) 18:30~20:30

講師	所属
ME/CFSとME/CFS-likeの解説 倉田 弘博 (倉田クリニック)	ME/CFS研究会
在宅医療におけるCFISの事例 島 聖彦 (島クリニック)	ME/CFS研究会
医療ソーシャルワーカーの役割 笠原 崇史 (高知大学)	高知大学
ME/CFSの臨床検査 安部 寛大 (高知大学)	高知大学
介護認定から介護サービスまで 森田 聖子 (高知大学)	高知大学